

## 公開 参観

14日(土)には公開参観日を行いました。更級小学校では年間に7回(祖父母参観日を加えて)の参観日を設定していますが、6月は広く地域の方々にも公開する日として、土曜日に設定し、参観時間も多くしています。また、参観の方々から感想をいただいたり、学校評議員の方に当日来ていただき、直接感想を伺ったりということを今年も行いました。

学校評議員の方々との懇談では、授業について、「親子でともに子どもに関わりながら物作りする活動は、それぞれの親子の関わりが互いに学びあえていい。」「先生も俳人の身なりで本格的に俳句の基本をきちんと教えた上での俳句作りを指導し、子どもはいい句ができていた。」「参観者がいる授業中でも、子どもの姿勢をきちんと正した先生」など、いい評価をいただきました。一方、「高学年になると発表の声がどうしても小さくなってしまふ。」など、中学校への連携の課題としても、今後取り組んでいきたいことを伝えていただきました。

地域の中では、「中学生になってもよく挨拶してくれる子がいること。」また「こちらから声をかけていくと、声の出なかった子もしだいに挨拶してくれるようになったこと」など、話題になりました。お互いに声を掛け合う地域と学校にさらにできればと思っています。



【朝の音楽集会、もう参観の方々がたくさん来ていました。】

## どこでも 特別 支援 教育

参観のあと「特別支援教育」をテーマに講演をさせていただきました。

昨年度より「特別支援教育」が法的に規定され全国で始まり、今まで特殊学級や養護学校を場にしてきた特殊教育が、通常の学級にいる支援の必要な子どもにもと、拡大されました。「発達障害」と言われる学校の授業で支援が必要なお子さんは100人に6、7人はいることがあらためて明らかになったからです。この「発達障害」についてふれながら話をしました。

ご家庭のとの連携がうまくかみ合い、特別支援教育が進むと、子どもたちは本当にグングン力を伸ばしていきます。ぜひ、皆様方の理解と協力をお願いいたします。

### < こんなお話をしました >

- 1 天才と発達障害** …… 「すぐれた才能」と「社会適応の難しさ」とがともにあった人も多い。社会への適応に難しさがある一方で、特定の興味に集中し才能を伸ばすことができた。そして、その才能への(理解者)があつて、初めて才能を開花できた。  
「エジソン … (母)」「アイン・シュタイン … (妻)」「トットちゃん … (小林校長先生)」
- 2 発達障害 「障害=disorder 発達の道筋の乱れ」 見えにくい障害**  
「個別の対応をした方がよいかどうか、診断の意味になってきた。」 杉山登志郎 Dr  
→ 社会適応が損なわれているときのみ障害と診断へ → 障害は周囲の対応によってもかわる。
- 3 特別支援教育の開始** …… 学校生活に何らかの不応状態 **通常学級に6.3%** H14調査
- 4 特別支援教育の目的** …… 持てる才能を伸ばし**自己イメージを高める**。対人トラブルの防止。

- 5 特別支援教育の方法 …… ① 障害の理解、適切な支援ができる教師への力量アップ  
 ② 特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的支援
- 6 虐待にあった児童生徒も発達障害と似た状態に …… 新たな支援の必要 「第4の障害」
- 7 更級小学校の今とこれからの取り組み …… ① 支援会議、専門家による検査、支援アドバイスの依頼  
 ② 支援がとぎれないための連携 … 幼稚園・保育園との連携、就学児保護者との連携。  
 … 中1ギャップの解消に向けての、中学校とのより緊密な連携  
 ③ 早期からの支援 …… 小1年や低学年のうちにつまずきの傾向を把握、情報交換し組織的な支援へ  
 ④ 専門的な視点での児童理解と個別の指導計画の作成 … 支援の具体的な内容を保護者と協議  
 ⑤ 先生方の特別支援教育の専門性の向上 …… 研修会の実施。児童理解、授業研究の場での研修

# 初夏の更級小風景

今回は教頭先生が紹介します！

## 朝のふるさとの詩

6月12日(木)： 朝8時ころの校地(外)の光景、6年生は登校するとすぐに、2リットルペットボトル1本分の水を菊にくれています。水が多いので鉢の底から流れ出ます。「今日はどこまでいくかな？」とその水の流れを一心に見ている低学年の児童。西の方に目をやると畑にじょうろで水をあげている一年生と草をとる山崎先生。更にひょうたん池の方に目をやると5年生と2年生(姉妹学級)がいっしょにおたまじゃくしを捕まえたり、生き生きとして遊んでいました。プールサイドには明日のプール開きの準備をしている岸田先生の姿が見えました。兎小屋に目をうつすと一生懸命に掃除をしているうさぎ当番の3年生。校庭に目をやると陸上練習している5・6年生と指導している松島、倉石、平原先生。その向こうに1年生を迎えている篠田先生と校長先生、そして校庭の整備してくださる森田先生。更級小学校の朝のふるさとの詩です。

## 1年生初めてのプールは好天気

6月18日(水)： 一年生初めてのプールでの授業が行われました。何事も始め

が肝心で、着替え、タオルのかけ方、体操、バディーの組み方、シャワーの浴び方、入水の仕方等々子どもたちはそれらをきちんとこなし、楽しいいきまりよい水浴びができました。シャワー(本校のは大変勢いがよい)が出るとき、授業のじゃまになってしまうと分かっているにもかかわらず「きゃ



ー」と声が出てしまいます。本当に今日は楽しみにしていたようで、水に入る際にもうきうき気分的一年生でした。水の中で「こおり鬼」をしました。最後には平原先生が鬼をつとめ、みんな嬉しそうに逃げ回っていました。一年生にとってかなりの運動量だったと思いますが、みんな元気に水を楽しむことができました。

特に危険のある水泳では、先生の指示がしっかりととおることが大事です。一年生は山崎先生の指示をしっかりと守り、水をこわがる子どもは一人もいませんでした。

